



アドビ システムズ 株式会社
141-0032 品川区大崎 1-11-2
ゲートシティ大崎イーストタワー 19F

アドビ、プロフェッショナルな映像現場の効率化を促進する 動画制作ツールを NAB 2019 で発表

Creative Cloud の最新アップデートでは
AI 活用で更にクリエイティブ性を高めた機能と、高速処理を実現

※当資料は、2019 年 4 月 3 日に米国本社から発表されたプレスリリースの抄訳です。

【2019 年 4 月 3 日】

米国カリフォルニア州ロサンゼルス発：Adobe (Nasdaq: ADBE) (本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビ) は、本日、2019 NAB Show (National Association of Broadcasting) に先んじて、処理の高速化と新たなイノベーションを Adobe Creative Cloud のビデオ & オーディオツールに加え、動画制作をさらに効率化するアップデートを[発表](#)しました。Adobe Creative Cloud は最も統合が進んだ製品ワークフローを提供し、現在「Clemency」、「The Last Black Man in San Francisco」、「A Native Son」、「The Peanut Butter Falcon」、「Wu-Tang Clan: Of Mics and Men」をはじめとする世界最高峰の映画やテレビ番組およびストリーミングコンテンツの制作をサポートしています。Fox Sports 社や VICE Media 社など、放送やストリーミングも含めた幅広い現場で使われています。

本日提供を開始するアップデートの新機能には、アドビの人工知能 (AI) および機械学習テクノロジーである Adobe Sensei に基づくビデオ向けの「[コンテンツに応じた塗りつぶし](#)」機能をはじめ、タイトルおよびグラフィックスの制作とアニメーションの制作のための新機能、洗練されたオーディオミックス機能、プロジェクトに用いる各種メディアを整理整頓する機能が含まれます。さらに、Premiere Pro では効果や色変更の適用に用いる[マスクトラッキング](#)の高速化、デュアル GPU への最適化、HEVC および H.264 処理におけるハードウェア高速化の強化など、数百もの処理高速化を実施しました。また、After Effects の機能強化には、「色の変更」や「ラフエッジ」といった効果の GPU 高速化が含まれます。

Corridor Digital の共同創設者であるニコ ポーリンガー (Niko Pueringer) とサム ゴースキー (Sam Gorski) は次のように述べています。「今年に入って、Adobe Creative Cloud で制作した 200 本のコンテンツを 700 万人を超えるオンラインフォロワーに配信できました。これは記録的

なスピードです。本日の Premiere Pro リリースによるパフォーマンス向上については、デュアル GPU のサポートによる書き出し時間の短縮と超高速の編集によってさらに優れたクリエイションが行えると期待しています。」

アドビのデジタルビデオ&オーディオ担当バイスプレジデントであるスティーヴン ワーナー (Steven Warner) は次のように述べています。「放送、映画、ストーリーミングサービス、デジタルマーケティングなどの領域で大量の動画が視聴されており、その結果、コンテンツ制作の需要が急増しています。処理速度の高速化と、Adobe Sensei に基づくインテリジェントな新機能を搭載した CreativeCloud を使うことで、映像プロフェッショナルは映像制作上の煩雑な作業から解放され、ストーリーテリングやクリエイティブビジョンの創造に注力できます。」

豊かなストーリーテリングのためのスマートなツール

今年の NAB 参加者は 4 月 8 日から 11 日の開催期間中、[アドビブース](#) (ラスベガスコンベンションセンター サウスホール #SL5610) ならびに 100 社を超える [パートナー](#) (英語) ブースで新機能を間近で体験し、業界のエキスパートの話を聞くことができます。4 月 5 日午前 1 時 (米国太平洋標準時 4 月 4 日午前 9 時) からの、ジェイソン ラヴィーン (Jason Levine) が新機能を紹介する [Facebook Live](#) (英語) もぜひご覧ください。

本日発表のアップデートに含まれる主な新機能は以下の通りです。

- **不要なオブジェクトを自動的に消去する After Effects の「[コンテンツに応じた塗りつぶし](#)」**：「Project Cloak」と呼ばれていたビデオ用「コンテンツに応じた塗りつぶし」機能は、Adobe Sensei を活用してブームマイク、看板、ロゴ、あるいは人物までも含めた視覚的要素をフッターから消去する作業を自動化し、何時間もかかる煩雑な手仕事を不要なものにします。
- **素材を整理してストーリーボードを作成できる Premiere Pro の「[フリーフォームプロジェクト](#)」パネル**：映像アセットを視覚的に配置してレイアウトごとに保存できるため、シーンの選択、進行の検討、ストーリーのアイデアのブレインストーミング、粗編集などの作業に活用できます。
- **[定規とガイド](#)を使って正確かつ一貫したデザインを作成**：Premiere Pro に定規とガイドという使い慣れたデザインツールが搭載されたことで、タイトルやアニメーション効果などを正確に整列させ、作品すべてにわたって一貫した配置が行えるようになりました。

- **簡単かつ効率的な録音を実現する Audition の「パンチ&ロール」**：波形エディターとマルチトラックエディターの両方に対応するこの新機能で、ナレーションやオーディオブックの吹き込みなど、長時間の録音セッションの制作ワークフローが効率化します。
- **Twitch に対応した Character Animator のライブストリーミングトリガー機能拡張**：視聴者にリアルタイムで反応してコスチュームをその場で変えたり、即興でダンスをしたり、決めのジェスチャーやポーズをするキャラクターを使ったライブストリーミングが簡単に配信できます。アクションを起こすのに [Bits](#) を使うことで、視聴者からの投げ銭スタイルのコミュニケーションを取ることもできます。
- **新たに背景音に対応した、Audition と Premiere Pro 搭載の自動ダッキング機能**：Adobe Sensei によりさらに強化された自動ダッキングは、人物の音声レベルに応じてバックグラウンド音のレベルを動的に調整できるようになりました。調整のために打たれたキーフレームは手動で自由に調整できるため、この機能によってクリエイティブコントロールが損なわれることもありません。
- **ビジュアルの幅を広げる**：[Adobe Stock](#) が提供するプロフェッショナル品質かつスタッフによって選別整理された、ロイヤリティフリーの HD/4K ビデオ映像フッターおよびモーショングラフィックステンプレートが 1,000 万点の舞台に乗りました。それらは先進的なクリエイティブエージェンシーや独立系の映像エディターの手によるもので、エディトリアルコンテンツやエスタブリッシングショットあるいはフィラーとして活用できます。
- **撮影してすぐに公開**：昨年提供を開始した [Premiere Rush](#) は、Premiere Pro と連携した効率的なモバイル～デスクトップワークフローを実現し、外出先でも簡単にビデオ編集と合成が可能です。Rush に内蔵されたカメラ機能を使えば、モバイルデバイスでプロ品質の動画撮影が行えます。

価格と提供開始時期

NAB で発表される Adobe Creative Cloud の新機能は、Creative Cloud の最新バージョンで本日から提供開始されています。Creative Cloud のプランの詳細は <https://www.adobe.com/jp/creativecloud/plans.html> をご覧ください。また、Adobe Stock のプランについては <https://stock.adobe.com/jp/plans> をご覧ください。

アドビについて

アドビは、世界を動かすデジタル体験を提供します。

アドビ システムズ 株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、[Web サイト](#)に掲載されています。

© 2019 Adobe. All rights reserved. Adobe and the Adobe logo are either registered trademarks or trademarks of Adobe in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.